

米子市まちづくり活動支援交付金
事業報告会資料（平成27年度事業）

ちやれんじくらぶ活動15周年記念事業

実施期間	平成27年7月1日～28年3月31日		
団体名	ちやれんじくらぶ	代表者	
団体の主な活動			
○スキーツアー（1泊2日）			
○米子市戸板市によるバザー			
○カヌー体験			
○ピクニック			
○交流会（食事会等）			
総事業費	975,371円	交付金額	300,000円

米子市ふるさと交流センター
（米子市平野7-5-1） 事務局

様式第8号(第12条関係)

まちづくり活動支援交付金事業報告書

事業名	ちゃれんじくらぶ活動15周年記念事業
事業目的	ノーマライゼーションの実現を目指し、スキー宿泊体験等の事業を行う。 活動15周年を迎え、記念誌を製作する。 様々な体験を通じて仲間の絆を深め、日常生活での声掛けや助け合いに繋げる。
事業実施場所	休暇村 奥大山 鏡ヶ成スキー場ほか
事業の対象者	ちゃれんじくらぶの活動に参加した人(延べ人数268名が参加)
事業概要	<p>○スキーツアー(総勢61名が参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いすをスキーに乗せて雪山を滑る。(スキー体験の場の提供) ・障がいの種類・あるなしに関わらず、共に雪山で活動し、情報交換など交流する。 ・車いすや「JINRIKI」を実際に自分の手で触れ、使用方法を学び、体験することで、災害時避難の訓練にも繋がる。 <p>○15周年記念誌「共生」の製作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラー30ページ500部 ・今までの活動に参加・協力いただいた方に対し、お礼の意を込めて配付。 ・今後活動の輪をより一層広げていくための広報・啓発資料として、当初予定していた部数より増刷した。 <p>○米子ほんどおり商店街戸板市によるバザー(2回)(延べ人数31名が参加)</p> <p>みんなの家から日用品等を持ち寄り、活動資金を捻出した。</p> <p>○カヌー体験(38名が参加)</p> <p>普段車いす暮らしで、家族の力だけでは、なかなかできないようなカヌー体験も、たくさんの方の助けを借りながら挑戦し、大山赤松の池で自然を肌で感じる事ができた。</p> <p>○米子城山登山(60名が参加)</p> <p>15周年目の今年は、より多くの参加者でスキーツアーを行いたいとの思いから、事前に参加者の輪を広げていくため、新たに城山登山という目標を立て、その実現までの過程で結束力を高めていった。</p> <p>○交流会(バーベキュー大会2回他)(延べ人数78名が参加)</p> <p>バーベキューの最後には、みんなでスイカ割りをした。車いすの参加者も、目隠しをしながら挑戦し、周りのみんなの声掛けを頼りにスイカ割りを楽しんだ。</p>
事業効果	<p>○車いすスキーをはじめ、様々な体験の機会を提供する。</p> <p>○福祉用具の取扱いを学び、実践に繋げる。</p> <p>○「ちゃれんじくらぶ」のモットーや価値観を伝え、その輪を広げていくことで、地域づくりや人づくりを推進する。</p>
今後の取り組み	<p>活動を継続し、積み重ねることで、参加者同士の心の距離を縮め、他のイベントや日常生活における声掛けや支え合いに繋げていく。交付金をいただいたことで製作することができた15周年記念誌を活用し、新たな気づきの機会や体験のきっかけづくりをしていく。</p> <p>そして、全ての人が、障がいの有無、年齢、性別などに関わらず、地域で日常的な生活を送ることができる社会の実現を目指す。(ノーマライゼーションの実現)</p>
<p>次年度以降、どのように継続して事業に取り組み、また、活動の成果をどのように住みよいまちづくりに生かしていくのか、具体的に記載してください。</p>	

(注) 事業実績報告書は、米子市報、ホームページ等で公表することもあります。

様式第9号 (第12条関係)

まちづくり活動支援交付金事業収支決算書

1 収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考 (積算内訳)
市からの交付金	300,000	300,000	0	486,783円×2/3=324,522円 上限30万円
自 己 資 金	924,548	525,467	△399,081	会費43人分516,000円 ちゃれんじくらぶより9,467円
事 業 収 入	0	29,900	29,900	戸板市11,000円+18,900円=29,900円
そ の 他	100,000	120,004	20,004	寄付金 (記念誌) 1,000円×54人=54,000円 寄付金 (活動費) 66,004円
合 計	1,324,548	975,371	△349,177	

2 支出の部

(単位：円)

	科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考 (積算内訳)
交付金対象経費	報 償 費	0	0	0	
	旅 費	0	0	0	
	需 用 費	113,020	206,400	93,380	ポスター 80円×10枚=800円 趣意書コピー10円×100枚=1,000円 打合せ資料10円×104枚=1,040円 しおり作成100円×70冊=7,000円 記念誌(500部)196,560円
	役 務 費	14,340	13,623	△717	保険代 239円×57人=13,623円
	委 託 料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	351,600	266,760	△84,840	バス代リフトバス105,840円 JINRIKI レンタル16,092×10台=160,920円
	そ の 他	0	0	0	
	小 計	478,960	486,783	7,823	
その他の経費	宿泊費	750,600	471,130	△279,470	
	食糧費	30,000	17,458	△12,542	コスモス6,178円、まるごう4,821円 ダイソウ1,188円、マルワ1,901円 コスモス4,370円
	燃料費	2,500	0	△2,500	
	備品費	60,000	0	△60,000	
	雑費	2,488	0	△2,488	
	小 計	845,588	488,588	△357,000	
合 計	1,324,548	975,371	△349,177		

ちやれんじくらぶ
スキーツア2016

日程表
3/5(土)

時間	日程	助け合う事
09:30	県立総合療育センター前集合	バス乗車・車椅子・荷物の積込み
10:00	バス出発	
11:30	休暇村奥大山到着	バス降車・車椅子・荷物の積下ろし →1F奥多目的ホールへ
12:00	昼食(2F食堂にて)	
13:00	開会式 1F 多目的ホール 記念撮影	
13:30	活動開始 スキー・そり・雪遊び	移動の手伝い スキー・そり遊びの介助
16:00	活動終了	移動・片付け 希望によりスキーができます
17:00	入浴 ☆個浴を希望される方 301号 にて	裸のお付き合い
18:00	夕食(2F食堂にて) ☆飲み物を注文される方は各自で清算して下さい。	
20:00	情報交換会 1F 多目的ホール	

3/6(日)

時間	日程	助け合う事
07:30	朝食(2F食堂にて)	
09:00	活動開始 スキー・そり・雪遊び	移動の手伝い スキー・そり遊びの介助
11:30	活動終了	移動・片付け
12:00	昼食(2F食堂にて)	
13:30	閉会式 1F 多目的ホール 記念撮影	
14:00	バス到着 (荷物積み込みが 終わり次第出発)	バス乗車・車椅子・荷物の積込み
15:30	県立総合療育センター前到着	バス降車・車椅子・荷物の積下ろし
16:00	解散式	

日 2016年3月5日(土)9時30分～3月6日(日)16時
 集合場所 鳥取県立総合療育センター駐車場
 行き先 鏡ヶ成スキー場
 宿泊先 休暇村 奥大山

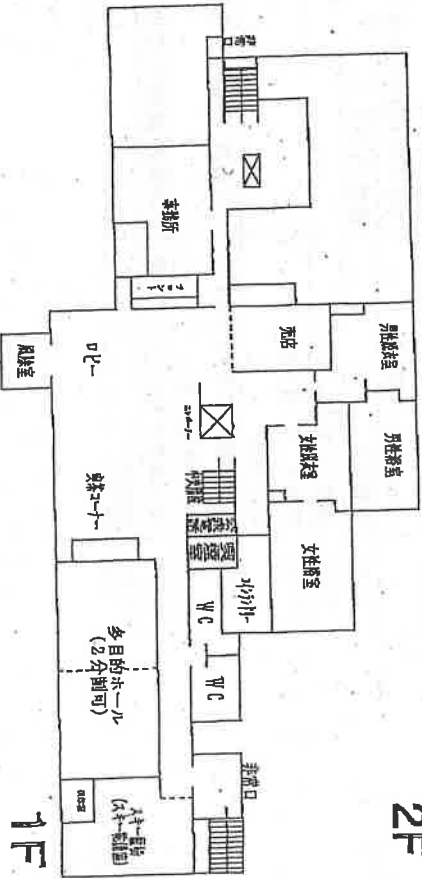
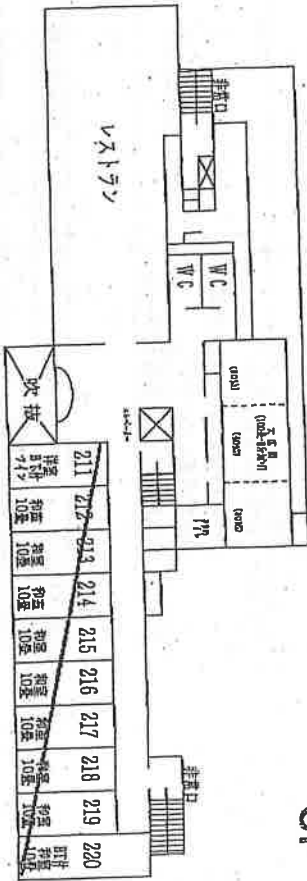
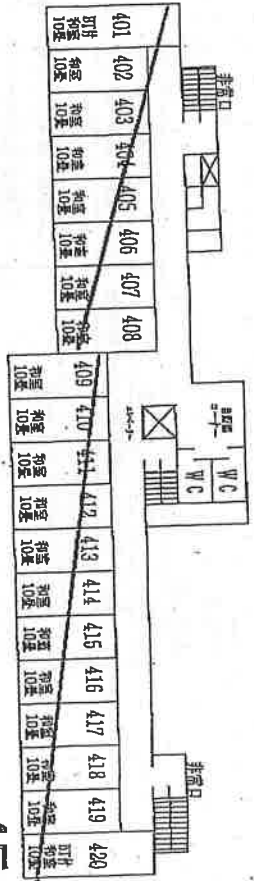
名 前

※



休暇村奥大山 本館館内図

1Fの416~420号室は利用できません



ちゃれんじくらぶの始まり

平成13年に行われた中国・四国肢体不自由児童学校PTA連合会総会およびPTA校長合同研究大会に岡野、中村、安野が参加した時の話です。徳島県立ひのめねこ養護学校の研究発表の中で「障害の重たい子どもたちのサークルフレンズ」の活動報告がありました。サークルフレンズの会員家族とボランティアの参加者120人が3台のバスで皆生温泉に宿泊し大山のスキー場で楽しんでくるとの報告がありました。私たちは、大山まで車で30分の距離の所に住んでいますので参加させて欲しい！とお願ひし平成14年のサークルフレンズのスキーツアーのスキー場探し、宿の手配、障害者の受け入れ準備・交渉など行い「休暇村福山」にて皆生子どもとして6家族で参加しました。そして直前に「マスコミ」の取材という宿題をいただき日本海新聞社、山陰放送などに知り合い頼りお願ひに行き当日新聞社の取材、BSSラジオの生電話による出演を果たしました。初の雪山体験は子どもたちにとっても刺激的ですごく素敵な笑顔が見られ、次の年も参加したいの思いだけで「皆生チーム」から「ちゃれんじくらぶ」と改名し、ボランティアで参加してくださる方を募り万全な態勢を整え平成15年のスキーツアーに40名で参加しました。前年の事もあり山陰放送の土曜日の生たまごの「進めMASAKO」のコーナーで取り上げていただき、多くの視聴者の方から反響をいただきました。そして…その子どもたちも全員成人となり、毎年参加ボランティアで参加していた方から「ボランティアとが家族とが分けて10年来の仲間なので大変なことがあったら何でも手匠うよ」とお言葉をいただき今年度から「共生」をテーマに色々な人と交流をするクラブと位置付けました。そして、昔はピクニック、夏はカヌー、冬のスキーなど余暇を中心に活動しています。

★★★★ 5つの約束 ★★★★★

- ★このスキーツアーは療育キャンプではありません。基本は各自の自己責任です。
- ★お互い声掛けながら助け合いながら活動を行います。
- ★体調など不安な事が有りましたら我慢されず近くに居る人に言ってください。
- ★医師や看護師は同行していませんので何かあれば救急車を呼びます。
- ★スキーで体温が低下された方は体温を上げるため301号室の浴槽をご利用ください。

★★★★ 安野携帯 090-4572-9547 ★★★★★

高齢者福祉施設利用者との交流用紙芝居等整備

実施期間	平成27年8月1日～28年3月20日		
団体名	郷土の歴史を知る会	代表者	
団体の主な活動			
○高齢者福祉施設に訪問し、紙芝居で話し合い交流をする			
○仲良し学級で紙芝居、パワーポイントで話し合い交流をする			
○ボランティア協議会・センターから招聘を受けた先			
総事業費	79,802円	交付金額	79,000円

まちづくり活動支援交付金事業報告書

事業名	高齢者福祉施設利用者との交流用紙芝居等整備
事業目的	高齢者福祉施設利用者は身体的にも脆弱で集中力が弱いですが、自分たちが暮らしてきた昔のことは興味もあり、熱心に交流話し合いに参加できる。この話し合い交流会は認知症予防に特効薬的効果が強く期待できると施設側から期待されている。私たちの会員がこの紙芝居を持参して高齢者福祉施設などに訪問して交流会を行うことで利用者の積極性、情緒安定回復に寄与する。
事業実施場所	デイサービス、グループホーム、デイケア、特養などの高齢者福祉施設
事業の対象者	デイサービス、グループホーム、デイケア、特養などの高齢者福祉施設利用者 施設のスタッフ
事業概要	会のボランティアのメンバーは紙芝居は全く初めての取り組みでしたので、最初はミーティングから始め、かみしばいの見学・勉強会(米子市児童文化センターの紙芝居、米子市図書館のおはなし会、産業体育館での紙芝居、米子市公会堂での紙芝居)そしてリハーサルを重ね、いよいよ本番は11月から始めました。 11月5施設、12月5施設、1月5施設、2月4施設、3月4施設と順調に訪問し交流を重ねております。今までの「水戸黄門」体操して、古い懐かしい昔をパワーポイントで偲ぶ中に紙芝居が加わり、かみしばいの絵を見て自分の昔の体験を話しされたり、季節の歌をいっしょに歌ったりして45分～60分の限られた時間を満喫され笑顔で「また来てよ」と送っていただいています。
事業効果	アンケートより <ul style="list-style-type: none"> ■ 新しい取り組みの紙芝居とても良かったです。和やかな時間がすごせました。 ■ 所々に質問をしていただき、それに答えておられ一体感があり良かったです。紙芝居の中にも歌を入れておられ、知った曲であり皆さん口ずさまれ良かったと思います。 ■ 紙芝居や季節の歌があり楽しく過ごすことが出来た。いろいろと利用者の方にわかる様工夫していただきありがとうございます。 ■ みなさん大満足で楽しませて頂きました。次回も楽しみに待っています。 等々、新しく紙芝居を加えたことは、大変良かったのではないかと思います。これからも、一方的に話をしない、教えようとせずに話のキャッチボールが楽しくできるかを考え、かみしばいやパワーポイントを活用しながら工夫していきたい。
今後の取り組み	高齢者福祉施設利用者の方が喜んで笑顔になっていただき、たくさんお話が聞き出せるように私たちの質の向上を目指し努力していきます。また、継続してこの活動をしていけるようにボランティアの仲間を増やしていきます。 次年度以降、どのように継続して事業に取り組み、また、活動の成果をどのように住みよいまちづくりに生かしていくのか、具体的に記載してください。 毎月の企画検討会議にて問題点を出し合い、アンケートでの指摘などを改善していきます。例えば、アンケートで高齢者には紙芝居の画面が小さいとの声に対し、パワーポイントで画面を大きく写し(補助として)たり、高齢者で耳がとおい方がいらっしゃる、聴きとりにくいとの声に対し、マイクアンプを購入して対応しました。 会員の声、施設の方のアドバイスを聞きながら、会オリジナルのかみしばいを作ることを目標にしていきます。

(注) 事業実績報告書は、米子市報、ホームページ等で公表することもあります。

まちづくり活動支援交付金事業収支決算書

1. 収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考 (積算内訳)
市からの交付金	79,000	79,000	0	
自 己 資 金	82	82	0	
事 業 収 入	0	0	0	
そ の 他	0	0	0	
合 計	79,082	79,082	0	

2. 支出の部

(単位:円)

	科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考 (積算内訳)	
交 付 金 対 象 経 費	報 償 費	0	0	0		
	旅 費	0	0	0		
	需 用 費	79,082	79,082	0	大型紙芝居舞台 25,920 円 オリジナル紙芝居舞台 11,314 円 紙芝居ひょうしぎ 3,132 円 紙芝居7部 18,036 円 紙芝居1点 4,480 円 紙芝居1点 (5部) 16,200 円	
	役 務 費	0	0	0		
	委 託 料	0	0	0		
	使用料及び賃借料	0	0	0		
	そ の 他	0	0	0		
	小 計	79,082	79,082	0		
	そ の 他 の 経 費					
小 計		0	0	0		

合 計	79,082	79,082	0	
-----	--------	--------	---	--

(注) 交付金対象経費の支出には、領収書の写しを添付してください。

歩いて元気になる「元町薬木めぐり」事業

実施期間	平成27年7月10日～27年10月24日		
団体名	元町通り商店街振興組合	代表者	
団体の主な活動 ○組合員の福利厚生に関する事業 ○組合員のための契約駐車場券の管理・斡旋 ○商店街内に設置する椅子などの備品管理を含めた安心、安全なまちづくりのための環境整備、清掃事業 ○元町パティオの緑化や備品などの維持管理など			
総事業費	120,300円	交付金額	80,000円

様式第8号（第12条関係）

まちづくり活動支援交付金事業報告書

事業名	歩いて元気になる「元町薬木めぐり」事業
事業目的	米子の玄関口である米子駅からまちなかに入る入り口に位置する元町通りの路面環境整備後、街の賑わい創出とまちなか環境を良くする事を目指し楽しく学びながら健康になってまちあるきのキッカケを促す為の事業。
事業実施場所	元町通り商店街内
事業の対象者	米子の商店街を通行される市民及び観光客の方
事業概要	<p>①通りに配置された30鉢（15種類）に薬木の名前、薬用部位、利用方法などを明記した看板を設置した。</p> <p>9月30日 設置作業 参加者 5名 立て札プレート（ライトニウムプレート 150*300mm 脚400mm）15枚 吊下げプレート（ライトニウムプレート 50*100mm）15枚</p> <p>②「ペットボトルで作るフラワーハンギングバスケット教室」を西谷勝之先生（鳥取県造園建築業協会鳥取支部長）をお呼びして開催した。あわせて、通りに設置している植物の管理についての講習を行った。</p> <p>10月24日 実施 参加者 14名</p>
事業効果	<p>1. まちの賑わい創出効果 自治会と商店街のメンバーがまちなかの環境を良くする事に対して一緒に活動する事で、高齢化率の高い地域のまちづくりとにぎわい創出に寄与できたと感じている。</p> <p>2. 植物(薬木)への関心を高める効果 来街いただいた方が薬になる植物に興味を持っていただく事へのアプローチとして、プレート設置を行った事で散歩中に立ち止まって覗き込んでいる風景が見られる様になった。合わせて、観光客へのアプローチも効果として考えている。</p> <p>3. 気軽に植物に親しんでいただくイベントとして、「フラワーハンギングバスケット教室」を開催した。当日は戸板市、骨董がらくた市、米子映画事業、ねぎ米まつりなどが開催され、人通りが多く参加申し込みがをされなかった方々にも関心を持って見ていただいた事が印象的であった。 西谷講師から薬木など植物の管理法や育て方などについての講義を受けましたので、今後の維持管理にも役立てて参ります。</p>

今後の取り組み

次年度以降、どのように継続して事業に取り組み、また、活動の成果をどのように住みよいまちづくりに生かしていくのか、具体的に記載してください。

薬木の管理やパティオに配置されている植物にも市民の方々に関心を持っていただく事は今後の地域コミュニティを維持する上でも重要な事だと考えています。ワークショップについても参加者の方から「またやって欲しい」「他の方もやりたそうだった」というお声をいただき、当商店街だけの事業ではなくて地域にお住まいの方を巻き込んだ事業を今後も企画することによって、町全体が緑地公園の様な緑いっぱいになる様に隣接する他商店街と協力しながら地域コミュニティ活性化を目指してまいります。

参加者様からのメール

24日はとても楽しく過ごせることができました。ありがとうございました。私も米子に住んでいる者として、地域を盛り上げていくお手伝いができたらなと日ごろから思っています。また何かイベントがありましたら教えてくださいませ。

(注) 事業実績報告書は、米子市報、ホームページ等で公表することもあります。

様式第9号 (第12条関係)

まちづくり活動支援交付金事業収支決算書

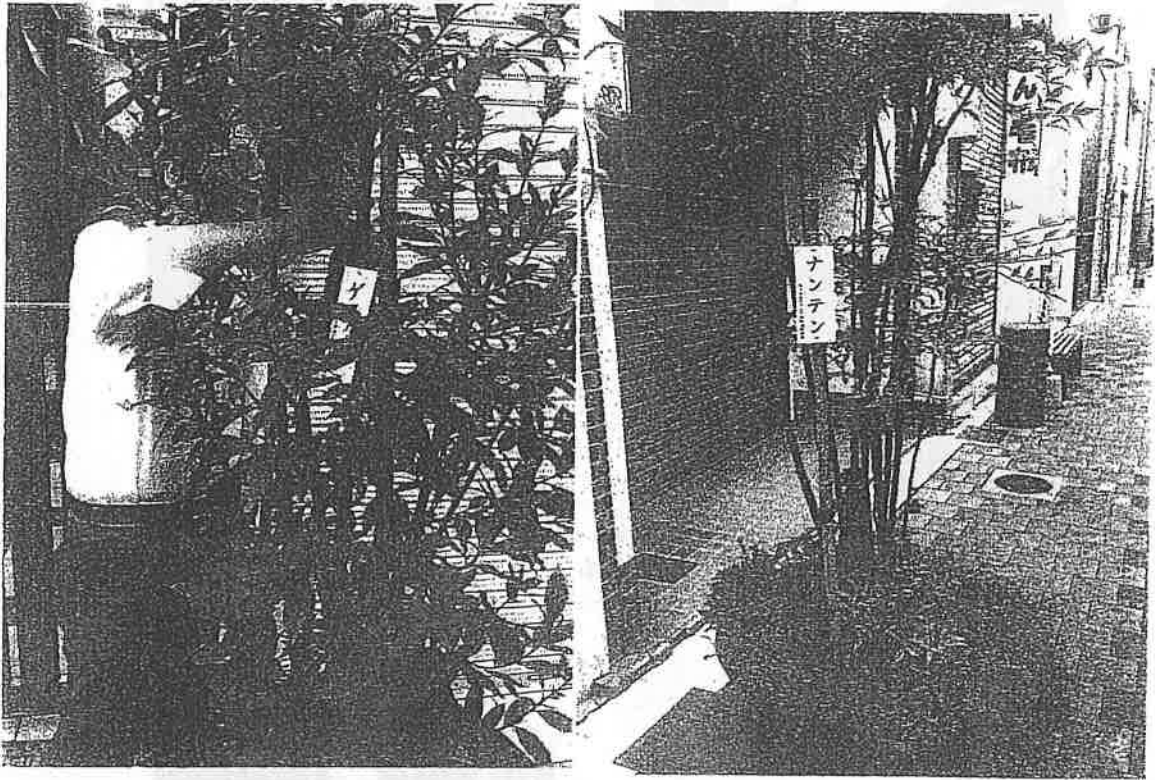
1 収 入 の 部
(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考 (積算内訳)
市からの交付金	80000	80000	0	
自 己 資 金	40300	53181	12881	
事 業 収 入	0	5000	5000	参加費 @500×10名
そ の 他	0	0	0	
合 計	120300	138181	17881	

2 支 出 の 部
(単位:円)

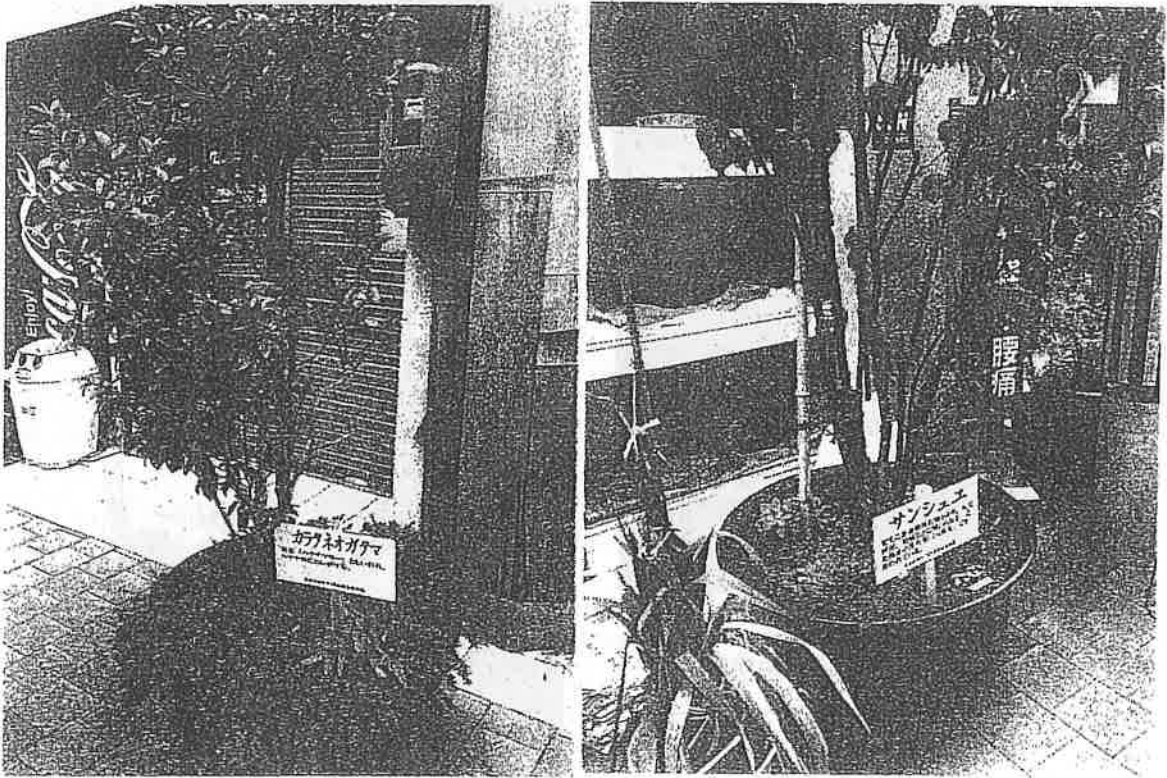
	科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考 (積算内訳)
交 付 金 対 象 経 費	報 償 費	5000	5000	0	講師謝金 1名
	旅 費				
	需 用 費	10000	10000	0	チラシ印刷 A4 カラー @50×160 枚 ポスター用パウチ @200×10枚
	役 務 費				
	委 託 料	102060	102060	0	プレート制作費 (立て札 吊下げ 式各 15枚)
	使用料及び賃借料	3240	0	-3240	
	そ の 他				
	小 計	120300	117060	-3240	
の そ の 経 費 他	苗 備品ほか	0	21121	21121	
	小 計	0	21121	21121	
	合 計	120300	138181	17881	

(注) 交付金対象経費の支出には、領収書の写しを添付してください。

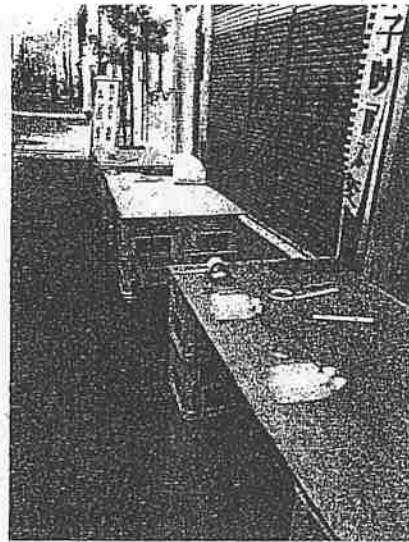


プレート取り付け作業

プレート取り付け完了



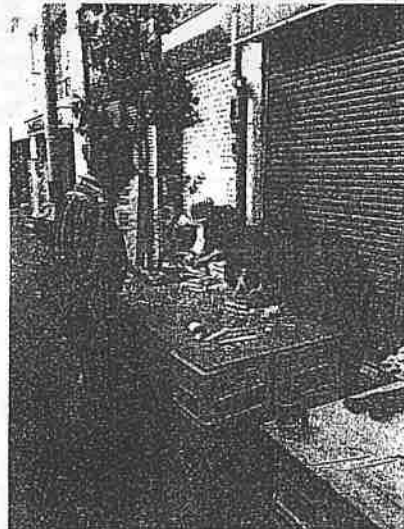
プレート取り付け完了(説明板)

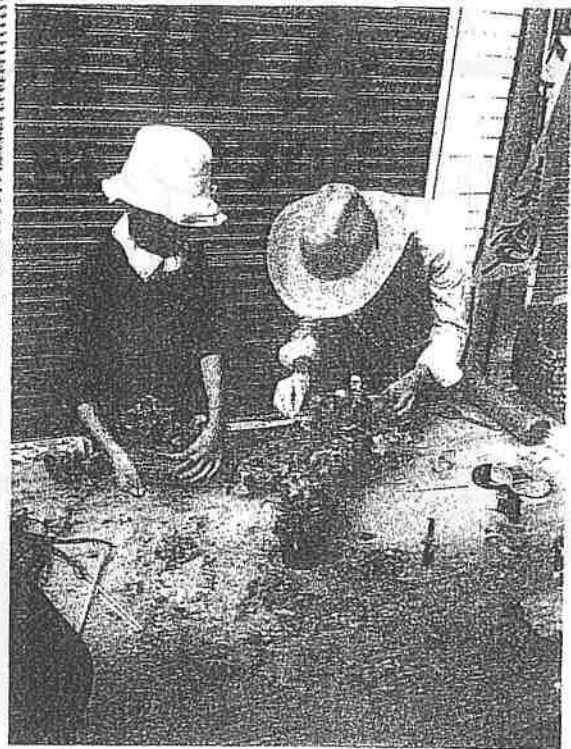


準備中



西谷講師より手順の説明中





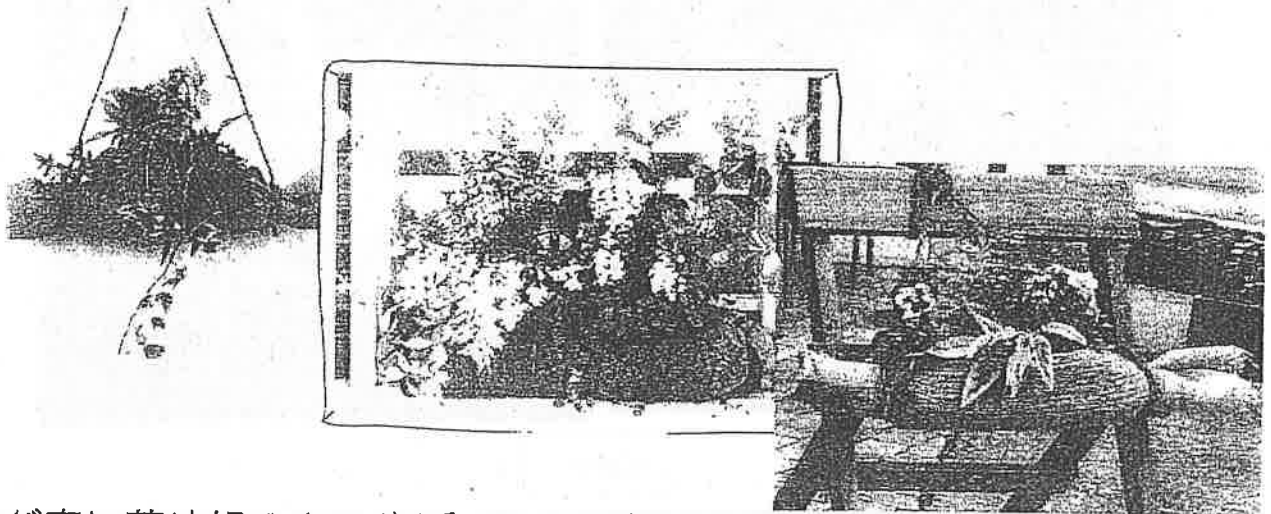
作成中



終了後の全体写真

ペットボトルで作る フラワーハンギングバスケット教室

ペットボトルをリサイクルして、簡単に作れて
オリジナリティーを発揮できるポットを作りませんか！



我が家に花や緑のある生活。いいですね。簡単DIYでベランダにお花畑を作りませんか？ 何も無いベランダに少し緑があるだけで雰囲気が明るくなります。応用すれば、ペットボトルの透明感を活かしてビー玉を入れたり、園芸用の高分子ポリマーを入れてオリジナル感のあるキラキラ感いっぱいの自分だけのポットも出来ますよ！

西谷勝之先生（鳥取県造園建築業協会鳥取支部長）の指導のもと、ワイワイガヤガヤ。ぜひご参加をお待ちしております。

日時：平成27年10月24日(土)

午前10時より

場所：元町パティオ周辺

定員：20名（20グループ）親子で参加OKです！

参加費：500円/グループ（材料費として）

ペットボトル500cc位のもの(四角いもの) 2本 キャップ付

手袋 ハサミ又はカッターをお持ちください

苗・その他の備品はこちらでご用意いたします。

お問い合わせ・お申し込みは、遠藤全快堂薬局 0859-22-3634まで

主催：元町通り商店街振興組合

米子市まちづくり活動支援事業

宇気川口神社（七夕神社）七夕祭り賑わい創出事業

実施期間	平成27年7月5日～27年8月15日		
団体名	米子市七夕祭り実行委員会	代表者	
団体の主な活動	<p>七夕祭りのにぎわいの創出と、地元の子どもたちはもとより幼稚園、保育所の園児たちと準備段階より参加をしていただき、町づくり故郷作りを体験してもらい、町とは何か故郷とはなにかの勉強になればと思っています。</p>		
総事業費	182,587円	交付金額	80,000円

様式第8号

まちづくり活動支援交付金事業報告書

事業名	宇気川口神社(七夕神社)七夕祭りにぎわい創出事業
事業目的	年に1度の七夕祭りではありますが、少子高齢化の波の中で、この実行委員会の活動がどこかで役に立てればと、準備の段階より子供たちの参加をお願いして、大人たち子供たちとの交流を介して、将来子供たちの記憶に残るまちづくりになればと考えています
事業の実施場所	宇気川口神社前の内町通り
事業の対象者	米子市民、界限自治会、幼稚園、保育園等 参加者数(参拝者)約1,000名前後
事業概要	<p>(1) 6月16日より、担当を決め、手分けをして近隣の幼稚園、保育園、近隣自治会に短冊、8月2日には、笹竹を配布して願い事など書いてもらい祭り当日の参拝を依頼する</p> <p>(2) 7月12日より、町内の各家庭に短冊、8月2日には、笹竹を配布して七夕飾りを作成、玄関前に飾ってもらうことをお依頼する</p> <p>(3) 8月7日早朝より、町内有志にて七夕飾りのアーチを作成する</p> <p>(4) 7月19日より、ぼんぼりを町内有志にて作成する</p> <p>(5) 祭り当日は、町内総出にて、飾り付けのチェック、照明のチェックを行う</p>
事業効果	助成金を頂いたこともあり、責任を感じながら子供会、自治会、実行委員会が一丸になれたことが、祭りの賑いが昨年の6割増しとなった効果と思っています。そして、幼稚園、保育園のご家族の初めての参りも目立ちました。実行委員会も立ち上げましたので、しっかり本年の反省をして来年に臨みたいと思っています
今後の取り組み	鳥取市、倉吉市、境港市、安来市、松江市と比較して、かつては、米子市はダントツのにぎわいのある街でした。今ほどの街にも追い抜かれ、後塵を拝しているような気が致します。何か他市のための渡り廊下化しているような気がしてなりません。実行委員会はどこかで米子市のために役立つ将来を強く思っています。米子市に一つしかない七夕神社です。具体的には、神輿も作りたいし、法被も作りたい、サポートを市民に広く求めたい、市民に七夕市場として出店をお願いできたらとか、伝説と、夢と、文化を広くアピールしてゆきたいと思っています

まちづくり活動支援交付金事業収支決算書

1 収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減	備考(積算内訳)
市からの交付金	80.000	80.000		
自己資金	10.000	10.000		自治会より
事業収入				
その他	100.000	92.587	△7.413	一般寄付金2.000円11名 1.0000円68名その他6名
合計	190.000	182.587		

2 支出の部

(単位:円)

	科目	予算額	決算額	増減	備考(積算内訳)
交付金対象経費	報償費				
	旅費				
	需用費		126.924		ビニール短冊、笹立てブロック、 笹竹、延長コード他
	役務費				
	委託料				
	使用料及び賃借料				
	その他				
	小計		126.924		
その他の経費	事務用品費		6.825		領収書用紙 印鑑
	印刷費		21.320		コピー代
	食料品費		27.518		弁当 飲料
	その他の経費				
	小計		55.663		
合計		182.587			

(注) 交付金対象経費の支出には、領収書の写しを添付してください。



AIR475 2015 応援団

実施期間	平成27年10月25日～28年3月21日		
団体名	AIR475応援団	代表者	
団体の主な活動 ○米子市内の建築アートマップの作成 ○建築アートマップを利用した街歩きイベントの実施 ○ボランティアの募集・育成 ○建築やアートに関するイベントの企画運営			
総事業費	110,000円	交付金額	80,000円

まちづくり活動支援交付金事業報告書

事業名	AIR475 2015 応援団
事業目的	アーティスト・イン・レジデンス事業(AIR475 2015)を盛り上げる、市外からのお客様へ米子市の魅力を知っていただく為に、まち歩きイベントを定期的実施する。アートや建築的な視点から魅力的な場所を紹介したマップを作成し、まち歩きイベント参加者のより深い理解を促す。
事業実施場所	米子市中心市街地など
事業の対象者	米子市在住の方々、米子市外から訪れた観光客
事業概要	<p>10月25日(日)まち歩きイベント実施 実施コース:米子市図書館前広場 → 中心市街地各所 → 中海・加茂川遊覧 参加者:大人10名、小人8名(米子市在住者を中心に、琴浦町からの参加者もあり)</p> <p>11月29日(日)まち歩きイベント実施(※一部車移動含む) 実施コース:米子駅前 → 彦名新田遊休農地(AIR475 2015 完成作品鑑賞) → 中心市街地各所 → 中海・加茂川遊覧 参加者:大人30名(県外や海外からのアーティスト及びまちづくりや文化行政に携わる専門家らが参加)</p> <p>2016年3月21日(月・祝)まち歩きイベント実施 実施コース:米子市図書館前広場 → 中心市街地各所 → 中海・加茂川遊覧 参加者:大人20名(米子市在住者を中心に、倉吉市や鳥取市からの参加者もあり)</p>
事業効果	これまでAIR475で招聘されてきたアーティストの視点で見つけた米子の魅力的な場所、アーティストの野外作品、米子市内の重要な建築資源などについて、米子市在住者はもちろんのこと、県外や海外からのお客様にも紹介することができた。米子市の街並みの独特の面白さや価値の高さなどを知っていただけることができた。
今後の取り組み	<p>今回の活動から、アートや建築的視点での米子市内のまち歩きのニーズは大変多いことが分かった。今後、メンバー自身のアートや建築の知識の研鑽を積むとともに、まち歩きイベントをサポートして下さる人材の育成にも取り組んでいきたい。今年度も人材育成を視野に入れていたが、メンバーに余裕がなく、そこまで取り組めなかったのが、今後の課題としたい。</p> <p>日本では今後、オリンピック開催なども控えているので、海外からの旅行客の増加も期待できるところ。日本語のみならず、英字や中国語などを併記したまち歩きマップの作成や、海外旅行者向けのガイド活動なども視野に動いていけたらと考えている。</p>
<p>次年度以降、どのように継続して事業に取り組む、また、活動の成果をどのように住みよいまちづくりに生かしていくのか、具体的に記載してください。</p>	

(注) 事業実績報告書は、米子市報、ホームページ等で公表することもあります。

様式第9号(第12条関係)

まちづくり活動支援交付金事業収支決算書

1 収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減	備考(積算内訳)
市からの交付金	80,000	80,000		
自己資金	12,000	12,000		会費 2,000円×6人
事業収入	9,000	18,000	9,000	まち歩き参加費 300円×60人
その他				
合計	101,000	110,000	9,000	

2 支出の部

(単位:円)

	科目	予算額	決算額	増減	備考(積算内訳)
交付金対象経費	報償費				
	旅費				
	需用費	77,000	80,000	3,000	マップデザイン費 マップ印刷費
	役員費	3,000	0	△3,000	
	委託料				
	使用料及び賃借料				
	その他				
	小計	80,000	80,000	0	
その他の経費		21,000	23,760	2,760	車の借用 5,400円×4台=21,600円 拡声器借用 1,080円×2台=2,160円
	弁当代	0	6,240	6,240	サポーター弁当代 780円×8人
	小計	21,000	30,000	9,000	
合計	101,000	110,000	9,000		

(注) 交付金対象経費の支出には、領収書の写しを添付してください。

